

大阪大学医学部附属病院改革プラン

本院の「**良質な医療を提供すると共に、医療人の育成と医療の発展に貢献する**」という理念のもと、以下の基本方針を本院の役割として実現していく。

ア. 患者本位の安心・安全な全人的医療の提供 イ. 高度な医療の実践と未来医療の開発 ウ. 社会・地域医療への貢献 エ. 豊かな人間性を持った優れた医療人の育成

運営改革

○ 病院長のマネジメント機能の強化

病院長・副病院長会議や病院運営会議を中心に、本院の各種機能に対応した委員会を機動的に開催していく。

病院長ヒアリングを全部門に対して行うことで各部門の取組、現況、要望事項等を把握し、病院長裁量により、各部門へ必要な資源配分を行っていく。

○ 大学本部・医学部等関連部署との連携体制の強化

経営状況の課題を共有・解決するための連携体制として、将来構想実現に向けた機能強化のための部局運営方針ヒアリング、統括理事による部局訪問ヒアリング等を通じて**大学本部と連携し、共働を推進**していく。

○ 人材の確保と処遇改善

優秀な医療人材を確保するため、**大学本部と連携し、処遇改善や労働環境改善**について積極的に取り組んでいく。

○ その他運営改革に資する取組等

業務改善の推進を通じて**病院運営の効率化と職員の意欲向上**を図り、もって**患者サービスの向上**に資することを目的とする業務改善委員会において、業務改善等の検討を進めていく。

教育・研究改革

○ 臨床実習に係る臨床実習協力機関との役割分担と連携の強化

先端医療と一般診療をバランスよく学べるように本院と関連病院を組み合わせた実習のほか、地域の基幹病院や診療所での地域医療実習を設定した**診療参加型臨床実習を実施**していく。

○ 臨床研修や専門研修等に係るプログラムの充実

卒後教育開発センターを中心に、プライマリ・ケアから最先端高度医療・医学研究に至る、**様々な医療分野に対応可能な幅広い臨床研修プログラム**を設定していく。
専門研修についても、各領域における**専門医の取得推進**と研修プログラムのさらなる充実に取り組んでいく。

○ 企業等や他分野との共同研究等の推進

オープンイノベーションを積極的に推進するとともに、**橋渡し研究事業**の活用等、わが国の医療産業の活性化と公衆衛生の向上を目指していく。
個人が信頼して**情報銀行**に預託した医療データによる、**医療データ利活用実証事業**に取り組んでいく。

○ 教育・研究を推進するための体制整備

臨床研究中核病院として、質の高い治験及び臨床研究に関する人材育成、教育研修、実施環境整備等を実施していく。

診療改革

○ 都道府県等との連携の強化

大阪府とのこれまでの連携事業等を維持しつつ、医療従事者の確保・養成及び地域密着型の診断体制を確立し、更に**地域医療に貢献するとともに大阪府との連携を強化**していく。

○ 地域医療機関等との連携の強化

関連医療機関等と緊密な連携を図るとともに、医師会との懇談会などを通して**地域連携体制を強化**していく。
がんゲノム医療中核拠点病院として、がんゲノム医療の全国的な体制構築と推進に貢献していく。

○ 本院における医師の労働時間短縮の推進

医師の働き方改革に対応した制度の構築、**タスクシフティングの推進**等を行っていく。
電子問診票や患者向け説明動画の活用等により、**業務効率化や負荷軽減を実現**していく。

○ 医師少数地域を含む地域医療機関に対する医師派遣（常勤医師、兼業）

大病院として医師の安定した供給（医師派遣：他院との医師人材の交流、本院医師の兼業）を行っていく。

○ その他の診療改革に資する取組等

患者支援アプリ（デジタル診察券）を用いて、**事務作業の軽減と患者サービスの拡充**の実現や患者さんへの診療情報共有を行っていく。

財務・経営改革

○ 収入増に係る取組の推進

病院長のリーダーシップのもと、全職員に病院経営（収入増、支出減、業務効率化）に対する意識づけを推進していく。
統合診療棟稼働により、手術件数・低侵襲治療件数の増、総合周産期母子医療センターの強化を図っていく。

○ 施設・設備及び機器等の整備計画の適正化と費用の抑制

医療機器設備の導入にあたっては、**省エネルギー効果、業務効率化**も含めた総合的な収益性を踏まえて行っていく。
2025(令和7)年に開院予定の統合診療棟整備にあたって、各診療機能のハイボリューム化、効率化を進め、診療機能・未来への医学の研究開発機能のさらなる充実を図っていく。

○ 医薬品費、診療材料費等に係る支出の削減

医薬品・診療材料等の経済的調達を実施するため、市場価格分析による値引き交渉を継続的に実施するとともに、2016（平成28）年度から開始した**国立大学附属病院共同調達**（対象：医療材料・消耗品）の品目に関して、対象品目の拡充に積極的に携わり、更なる効率的な調達を推進していく。

持続可能な大学病院経営の実現

医学教育・研究の維持発展 地域ニーズに応じた診療の確保